

第 49 回関西財界セミナー宣言

我々は、世界的な枠組みの変化や急速な人口減少などへの対応といった先例なき時代を切り拓くべく、第 49 回関西財界セミナーにおいて「関西発 アジアと共に栄える道」をテーマに議論を行った。これを踏まえ、以下のとおり宣言する。

1. 歴史的、経済的にアジアとの強い繋がりを持つ我が国、特に関西が、新たな成長を遂げるためには、アジアとの共生が不可欠である。その中で、関西は環境保護と経済成長の両立などアジアにおける諸課題を解決し、繁栄を先導する役割を担うべく、自らが産業、人材、文化、行政などの地域力を高めていく。
2. 関西の地域力を発揮するためには、関西広域連合を核として、官民連携により地域発展戦略を展開しなければならない。そのために、国からの権限・財源の移譲を早期に実現するとともに、未参加自治体の参画や事業範囲の拡大などにより、機能を拡充していく。そして、“地域のことは地域が決める” 体现者として成果を示し、我が国が地域主権型国家へ転換する道を拓いていく。
3. 関西は、アジアに開かれた地域として、物流・人流・知流の中枢を目指す。そのため、関西国際空港と阪神港の国際競争力強化や、途切れのない高速道路網整備など、総合的な交通・物流ネットワーク基盤を構築する。リニア中央新幹線については大阪までの一斉開業の実現を働きかける。加えて、「うめきた」や関西文化学術研究都市などで、アジア全体の健全な発展に資する知的創造基盤を確立するとともに、拠点連携型の広域総合特区を実現することで、地域主導のイノベーション創出環境を整える。
4. 関西は、アジアの活力を取り込むことにより、我が国の持続的経済成長を牽引する。そのため、我々が有する先進的な環境、インフラなどの技術やノウハウを「チーム関西」で提供し、ビジネス展開を加速する。また、インバウンドにおいては、広域観光の推進や海外からの投資促進に向けて魅力ある地域づくりを図る。さらに、20 年、30 年先のパラダイムシフトを見据え、環境、エネルギー、医療などの競争優位分野を活かし、世界に先駆ける産業を創出し続ける。そして、課題解決先進地域としてアジアはもとより世界から頼りにされる関西を目指す。
5. 企業は、自主自律の精神の下、取り巻く環境変化に適応し、成長し続ける。技術力に加え、安心・安全、文化的な価値も組み込んだ新たなビジネスモデルを展開し、消費地のニーズに合わせた商品やサービスを提供する。特にアジアをはじめ諸外国への展開においては、グローバルな経営戦略と海外市場を連結する人材を確保しなければならない。海外からの留学生など高度人材の獲得に向けては、生活環境の整備やキャリアパスの明確化など受け入れ態勢を産学官連携により拡充し、国内人材については、海外経験や国際交流などにより内向き志向から海外志向への転換を図る。
6. 国は、国際社会の平和と繁栄に貢献し、すべての国民が安心して暮らせる社会を実現するため、政治の安定を図り、国家基盤に関わる重要課題を早急に解決しなければならない。国民そして国益を守るべく、毅然とした外交・通商政策の展開と日米同盟を基軸とした強固な安全保障体制の構築を急ぐべきである。また、国際的な枠組みから締め出されないよう、一刻も早く TPP など各国との経済連携を推進し、強い農業の実現とあわせて、国を開くべきである。さらに、国家財政が実質的に破綻している中、社会保障制度や税制を含めた国家運営システムの抜本的な改革を直ちに断行すべきである。これらの実現に向けて、我々はこれまで以上に国に働きかけていく。

以 上